

遠賀川流域活動報告

第13回

「いけいけチャレンジ！遠賀川」発表会

1月21日(土)、遠賀川流域における河川環境教育の推進や参加校同士の交流を図ることを目的に、小中学生が遠賀川等の河川を題材とした学習・活動を発表する「いけいけチャレンジ！遠賀川」発表会が直方市の地域防災施設「遠賀川水辺館」で行われました。

発表会は、鞍手竜徳高校と直方第二中学校科学部のボランティアスタッフが運営を行いました。

今回は、流域の小学校5校、中学校1校が参加し、パワーポイントを使用したり、壁新聞や劇でこれまで学習してきた成果を発表しました。

会場からは「子どもたちは自分の考えをしっかりとって受け答えできている。感心しました。」という声があがりました。



遠賀川流域だより

各学校の発表概要(遠賀川河川事務所HPより)

飯塚市立片島小学校

発表テーマ: 地球環境プロジェクト～守ろう遠賀川～



外来種やゴミを減らすにはどうすべきかや、川をきれいにするために何ができるかを劇にして発表してくれました



芦屋町立芦屋東小学校

発表テーマ: 私たちの遠賀川



水質や河口堰、魚道、川と生活の結びつきを学習し、川や魚道の自然を守っていきいたい、ということをもパネルを使って発表してくれました



第53号

平成29年3月

田川市立伊田小学校

発表テーマ: 川は友だち



彦山川の水質と汚れの原因が生活排水であることを調べ、自然を守るために身近でできることから始めるということを発表してくれました



岡垣町立吉木小学校

発表テーマ: 「汐入川」は豊かな川なのか？～私たちにできること～



汐入川の水質や生物の調査を行い、自然を守るために自分たちで実施していることをクイズを交えて発表してくれました



小竹町立小竹北小学校

発表テーマ: 生き物調査隊2016



遠賀川の「わくわくごとしりばり(エコネット事業箇所)」で「生き物調査隊」として活動した取り組みを発表してくれました



直方市立直方第二中学校科学部

発表テーマ: ほくたちは、直方第二中学校科学部



遠賀川水辺館で行われている「遠賀川流域子ども水フォーラム」に参加し、生物調査等で学んだことを発表してくれました



第36回ふるさと遠賀川親子たこあげ大会

1月22日(日)、毎年行われている「ふるさと遠賀川親子たこあげ大会」が、あいにくの天候のため、中間市働く婦人の家で風の審査会として開催されました(主催：中間市子ども会育成連絡協議会、中間市雲龍風保存会)。

舞台の上には迫力ある風がずらり。子どもたちも自慢の風を持参して、コンテストに参加していました。酉年にちなんだ風が多くお目見え。また、子どもたちに人気のキャラクターが描かれた風もありました。

会場の様子



環境教育推進大会 (エコスタいいづか)

2月11日(祝)、市民一人ひとりが実践している環境保全活動にスポットライトを当て、取り組みを広く紹介し、啓発することを目的とした「環境教育推進大会(愛称：エコスタいいづか)」が飯塚第1体育館で開催されました(主催：飯塚市、飯塚市教育委員会、いいづか環境会議)。

今回は学校や市民団体の19団体が、日ごろの取り組みを発表しました。大賞は、龍王山の麓で里山保全と河川の水質浄化活動など環境学習会や環境保全活動を通して、次世代の子ども達への支援に取り組んでいる「龍王・山・里・川の会」の皆さんでした。おめでとうございます。

会場の様子



大賞の「龍王・山・里・川の会」の皆さん



第18回 香月・黒川ほたる教室

2月25日(土)、将来を担う子どもたちに自然保護の大切さや故郷を慕う心の育成等を目的とした「香月・黒川ほたる教室」が開催され(主催：香月・黒川ほたるを守る会)、八幡西区南部の6小学校(千代、星ヶ丘、木屋瀬、楠橋、池田、香月)の児童たちが、黒川・笹尾川などで水環境を学んだ成果を発表しました。

当日は、小学校の児童をはじめ、児童たちと共に学習を支援した会の皆さんや関係者、保護者が集まって児童たちの発表に聞き入っていました。また、国際交流を行っている韓国の皆さんの発表もありました。

千代小学校



「ほたるのひみつをさくろう」

楠橋小学校



「環境を守る学習から発信しよう」

星ヶ丘小学校



「ほたるの住める環境」

木屋瀬小学校



「木屋瀬にほたるを」

池田小学校



「ほたるの住むわたしたちの黒川」

香月小学校



「黒川のほたるについて」



第22回 サケの放流会

2月26日(日)、遠賀町立広渡小学校横の西川河川敷で「サケの放流会」が行われました(主催:遠賀町青少年育成町民会議)。

約6,000匹の稚魚を12月からボランティアの皆さんが育てており、当日ボランティアの皆さんが大事そうにバケツなどに入れて持ち寄りました。放流前に大きな水槽に入れた稚魚を見た子どもたちは「元気に泳いでいる!」といいながら、稚魚を見つめていました。

去年は、遠賀川では鮭が確認できませんでしたが、きっと皆さんの想いが伝わり帰って来られることでしょう。



当日は、参加者全員で会場周辺のゴミを拾いましたが、広渡小学校の3年生の児童が数日前にゴミ拾いをしてくれたので、ゴミが少なかったそうです。

笹尾川水辺の楽校 鮭稚魚の放流

3月10日(金)、笹尾川芝谷橋付近の笹尾川水辺の楽校で「鮭稚魚の放流」が行われ、地域の幼稚園や保育園の園児約250人が参加しました(主催:笹尾川水辺の楽校運営協議会)。

開会式で松尾会長は、「放流するサケに名前をつけてあげてください。きっと4年後に帰ってきます。」と挨拶。開会式の後には、北九州市消防音楽隊の演奏・演技と国土交通省遠賀川河川事務所職員から「サケについてのお話し」がありました。

サケの稚魚放流では、稚魚を受け取った園児たちからは、「元気がいい!」「名前は何がいいかな...」などさまざまな声が上がっていました。天候にも恵まれ、園児たちにとって思い出に残る一日になったのではないのでしょうか。



北九州市消防音楽隊の演奏・演技



「サケについてのお話し」

サケのこと知ってる?



松尾会長あいさつ



サケの稚魚をうけとり、稚魚放流~!



直方川づくり交流会 20周年記念シンポジウム

2月18日(土)、直方川づくり交流会が地域防災施設「遠賀川水辺館」で、発足20周年記念シンポジウム「遠賀川から世界へ～元気にはばたく希望の星～」を開催しました。

同交流会は、住民参加の川づくりを進めることを目的として活動を始め、平成16年からは遠賀川水辺館を活動の拠点として、地域に防災教育や環境教育を提供しています。今回のシンポジウムは、子どもの頃に遠賀川について学び、現在は大学生や社会人となった方々がパネリストとして、「遠賀川水辺館の活動が役に立った思い出」「これからの『夢』」などについて発表しました。併せて、福岡捷二氏(中央大学)と金尾健司氏(前国土交通省水管理・国土保全局局長)の講演も行われました。



左:直方川づくり交流会 野見山座長
右:壬生直方市長



シンポジウムでは、「遠賀川水辺館での活動から、知らなかったことをたくさん教わった。日々、発見だった」という意見や「水辺館で実践してきた活動が、今でも『自分で考える』ということにつながっている」、「自分が興味を持っていることを話すことができる仲間がいることが大きかった」などの思い出をパネリストが発表してくれました。

また、後輩に向けて「外に出て、自分の目で見ることが大切」「興味を持ったことを続けて」「夢を持って」などのメッセージを贈りました。

野見山座長は、「これからも、夢を持った子どもが増える手助けをしたい」と話していました。



左:福岡捷二氏、右:金尾健司氏



参加者全員で集合写真！

シンポジウム後の交流会の様子



I LOVE なかま 遠賀川フェス & 遠賀川に水辺の賑わいをつくろう講演会

2月11日(祝)、民間と行政が共同で地域づくりを行い、遠賀川での賑わいを創出することを目的とした「I LOVE なかま遠賀川フェス」(主催:NPO 中間市地域活性化協議会)と遠賀川に世界遺産が誕生したことを契機に、遠賀川での賑わいづくりを考える講演会「遠賀川に水辺の賑わいをつくろう講演会」(主催:中間市)が開催されました。

「I LOVE なかま遠賀川フェス」は、中間市役所前遠賀川河川敷で行われ、約7,000人の方々が中間市内外の飲食店が並んだ「食ブース」のグルメとアーティストのライブを楽しみました。



会場の様子



「遠賀川に水辺の賑わいをつくろう講演会」は、中間市中央公民館講堂で行われ、1部では真田武幸氏と田中里佳氏から水辺の賑わいを創出した全国の事例紹介が、2部では富田誠二氏を加えて、遠賀川での賑わいづくりについての意見交換が行われました。

富田氏は「子どもの頃、遠賀川について学ぶ機会が無かったので、今の子どもたちには遠賀川を学んでもらい、郷土愛を持って欲しい。そこから、地域活性化に繋がっていきたい」と発言されました。会場からも、五平太舟や中島の活用、ミズベリングプロジェクト「水辺で乾杯」についてなど、様々な意見がありました。

今後について、富田氏は「7月下旬頃に遠賀川を2泊3日で巡るイベントを企画し、子どもたちに遠賀川への郷土愛を育んでもらいたい」とおっしゃっていました。



左:ミズベリングプロジェクト事務局 チーフディレクター 真田武幸氏
中:国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 課長補佐 田中里佳氏
右:NPO 中間市地域活性化協議会 理事長 富田誠二氏

第3回芦屋の里浜づくり植樹

3月11日(土)、第3回芦屋の里浜づくり植樹が開催され、約420人のボランティアが参加しました。福岡県と芦屋町は、地域の皆さんと芦屋海岸を地域の財産として将来に誇れる松林を作り育て、あわせて飛砂被害を軽減する取り組みを行っております。今回3年目を迎え、合計約19,000本を植樹しました。

参加した子ども達は、「砂が柔らかくスコップでよく掘れたので松を植えるのは楽しかった」と話していました。

『芦屋の里浜づくり』の詳細は福岡県のHPへ

(<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kitakyu-pw-satohamajikkouinkai.html>)



作業終了後は、芦屋町観光協会と航空自衛隊芦屋基地の皆さんによる焼き出しをいただきました



遠賀川源流の森づくり 記念式典・植樹開催

3月12日(日)、保水力豊かな森づくりを目指して活動する「遠賀川源流の森づくり推進会議」は、今年で20周年を迎えるにあたり、『記念式典・植樹』を開催し、約300名が参加しました。

式典で森裕治会長は「平成9年の当初に植樹したクヌギは約15mに成長し、シイタケの原木としても十分利用でき、その落葉は腐葉土となり鳥や動物を育み、栄養豊富な水は川や海の魚や貝などに恵みをもたらし、まさに『森は海の恋人』であります。50年、100年先を見据えて森づくりに邁進しますので、今後ともご支援・ご協力をお願いします」と話されていました。

今回の記念植樹は嘉麻市屏山の中腹にカエデ、モミジ、山桜を210本植樹しました。

20年間で植樹した面積は約10haで1万2千本に上り、参加者は延べ4千人を数えました。



開会式



森会長あいさつ



植樹会場の様子



作業終了後に豚汁が振る舞われました



遠賀川物語「遠賀川まるごと探検隊」

3月12日(日)、遠賀川流域の遺産や歴史、食文化、環境など、地域資源の魅力を知ってもらい、郷土愛の醸成や自治体・地元団体の連携・交流を目的とした「遠賀川物語『遠賀川まるごと探検隊』」が開催されました(主催:遠賀川流域20市町村及び福岡県(嘉飯都市圏活性化推進会議、遠賀・中間及び直方・鞍手、田川広域連携プロジェクト推進会議)。

午前中は、田川市民会館で遠賀川の歴史や役割、自然について学び、彦山川・中元寺川合流点で水質調査を行い、遠賀川の源流の森づくりやサケのことを学びました。



イベントの様子



マスコミ取材に緊張...?



その後、地域防災施設「遠賀川水辺館」に移動し、昼食・休憩後に野鳥観察を行いました。水辺館前の河川敷では放牧されているヤギが皆さんを出迎えてくれました。



最後に遠賀川河口堰に移動し、魚道公園で魚とり体験・野鳥観察、管理支所では環境学習や操作室見学を行いました。

参加した皆さんからは、「身近な川の水量の変化や歴史、山との深い関わりが学べて大変興味深かった」、「生き物を大切にしたい」などのご意見をいただきました。普段忘れがちな、わたしたちの生活に密接にかかわる「川」や「いのちの大切さ」を身近に感じ取っていただけた一日になったと思います。



遠賀川 水辺のイベント(4月~5月) 平成29年

①~⑧水辺のイベント

- スポーツ施設
- 公園

季節の花

- チューリップ(4月)
- つつじ(4~5月)
- 藤棚(4~5月)
- アジサイ(5~6月)
- 多種

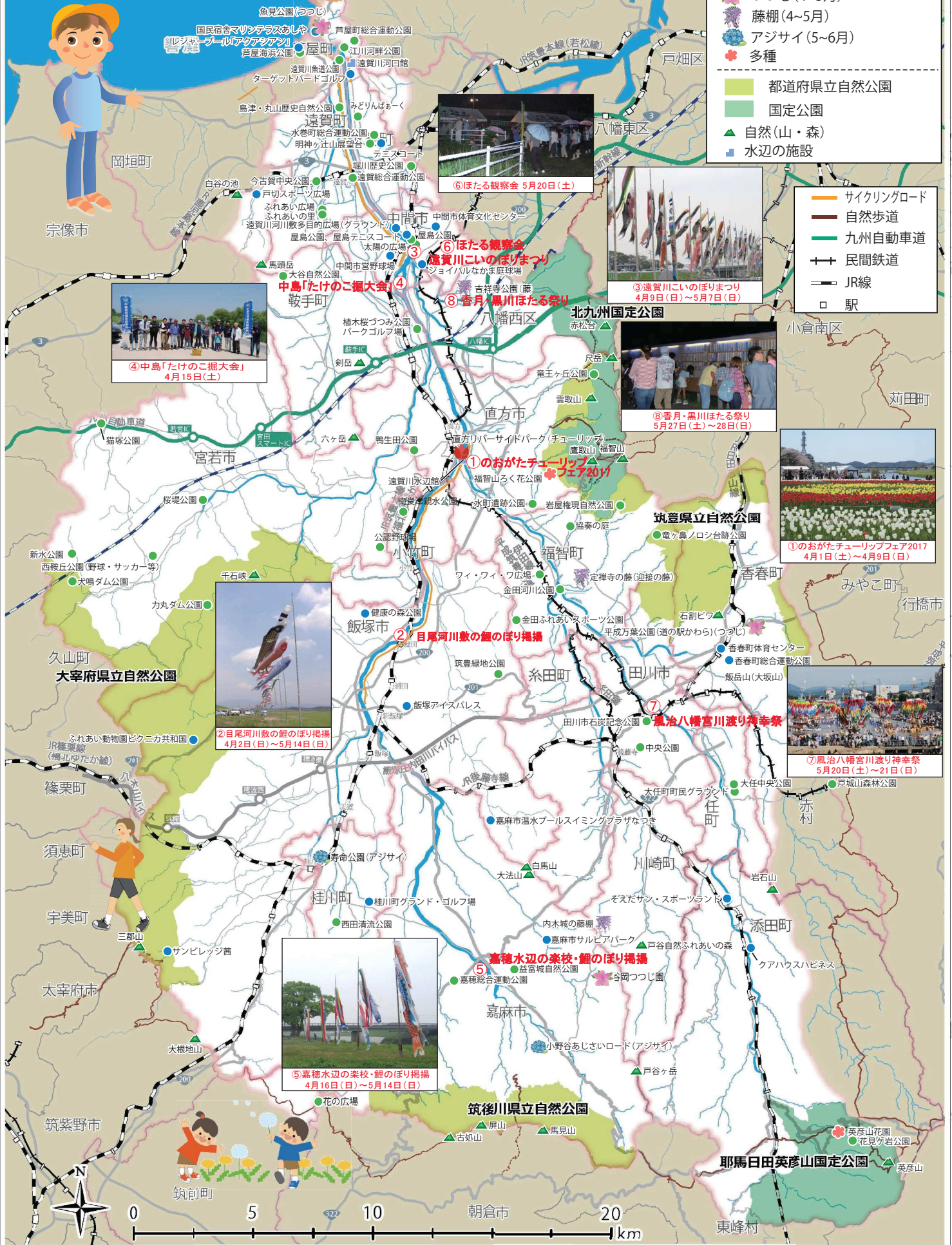
都道府県立自然公園

国立公園

▲ 自然(山・森)

■ 水辺の施設

- サイクリングロード
- 自然歩道
- 九州自動車道
- ++ 民間鉄道
- JR線
- 駅



4月～5月の水辺イベント情報

※ 前ページの地図に各イベントの場所を示しています。

事前申込が必要なイベントがあります。また、天候等により開催日が変わることがありますので、お問い合わせ先にご確認ください。

①のおがたチューリップフェア2017

4月1日(土)～4月9日(日)

概要: 今年も多くの市民ボランティアの手で植えられた約13万本のチューリップが、咲き誇ります。土日を中心に多数のイベントを開催します。

会場: 直方リバーサイドパーク

(直方市庁舎付近遠賀川河川敷)

問: 直方チューリップフェア実行委員会

tel.0949-28-8135

②目尾河川敷の鯉のぼり掲揚

4月2日(日)～5月14日(日)

概要: 男の子の健やかな成長を願っての鯉のぼり掲揚。支柱40本(10m間隔)に約160匹の鯉のぼりを掲揚します。

会場: 飯塚市目尾

(遠賀川の鯉田大橋下流左岸、河川敷)

問: 目尾フォーラム

tel.090-8228-8101(川原さん)

③遠賀川こいのぼりまつり

4月9日(日)～5月7日(日)

概要: 中間市役所前の遠賀川河川敷に約140匹の鯉のぼりが泳ぎます。

芝生に弁当を広げたり、散歩をしながら眺めることが出来ます。

会場: 中間市役所前遠賀川河川敷

問: なかま三代ふれあいの会

tel. 093-244-7801

④中島「たけのこ掘大会」

4月15日(土)

概要: 中間市下大隈にある遠賀川中島の貴重な樹木の保全活動の一環として、中島の「たけのこ掘」を開催予定です。

会場: 遠賀川中島「竹林の丘」

問: 遠賀川中島自然再生協議会

tel.093-245-4894

⑤嘉穂水辺の楽校・鯉のぼり掲揚

4月16日(日)～5月14日(日)

概要: 男の子の健やかな成長を願って鯉のぼりを掲揚します。支柱6本に40匹程度の鯉のぼりを掲揚します。

※鯉のぼりが古くなってきましたので、ご不要となった鯉のぼりの提供をお願いします。

会場: 嘉麻市上西郷(遠賀川の大隈橋上流左岸・嘉穂水辺の楽校公園)

問: 嘉穂水辺の楽校周辺の環境を守る会

tel. 090-1165-1983(在田さん)

⑥ほたる観察会

5月20日(土)

概要: 「曲川源流水辺の里」にてゲンジボタルの再生活動を推進中。昨年はピーク日に215個体の飛翔を観察できました。

会場: 曲川源流水辺の里

(中間市通谷1丁目33番)

問: 中間ほたる・メダカ会

tel.093-244-0451

⑦風治八幡宮川渡り神幸祭

5月20日(土)～21日(日)

概要: 福岡県の五大祭りの一つに数えられ、県の無形民俗文化財第1号に指定されたまつり。2基のみこしと色鮮やかなパレンやのぼりを立てた11台の山笠が、五穀豊穡と天下泰平を願って香春岳を望む彦山川を渡ります。

会場: 彦山川周辺 (田川市大字伊田)

問: 田川市たがわ魅力向上課

tel.0947-44-2000

⑧香月・黒川ほたる祭り

5月27日(土)～28日(日)

概要: 日本一のホタルの里を目指して、自然環境の保全活動に取り組み、次世代を担う子ども達に夢と希望を与えたい。開会式終了後にホタルの飛翔状況を探します。

会場: 八幡西区石坂1丁目～香月西4丁目

問: 香月・黒川ほたるを守る会

tel.093-617-1229

遠賀川流域だより

発行 国土交通省遠賀川河川事務所

住所 直方市溝堀1丁目1-1

電話 0949-22-1830

FAX 0949-22-2859

HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>

皆様のご意見、ご感想をお寄せください。



協力 NPO法人遠賀川流域住民の会

電話 0948-22-3535

<http://www.ongagawa.jp/>